



# 陵南の風

第3号 令和6年6月21日発行

## 『 凡事徹底 』

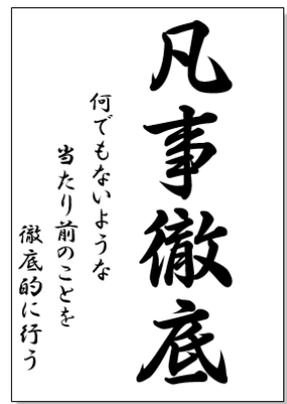
校長 有村 哲郎

令和6年度の1学期の登校日74日（2年生は73日）のうち54日（6/21現在）が終わりました。これまで様々な行事を実施しました。来週は、各学年校外へ出てそれぞれ体験学習に取り組みます。期末テストも終了し、1学期のゴールが見えてきました。長距離走に例えると、1学期の折り返し地点を過ぎ、この後どのように走っていくか自分自身の中で必死になって考えているころではないかと思えます。しっかりと先を見据え、見通しをもち、毎日の生活をより充実したものにして欲しいものです。

さて、普段何気なく使っていたり、行動したりしていることなど、当たり前前（あたりまえ）のことを当たり前前（あたりまえ）にすることを表す言葉に『 凡事徹底 』という言葉があります。何でもないような当たり前前（あたりまえ）のことを徹底的に行うこと、または、当たり前前（あたりまえ）のことを極めて他人の追随を許さないことなどを意味する四字熟語だそうです。本校でも月ごとの凡事徹底が示されています。今月は「無言清掃」です。

みなさんの学校生活の中での当たり前前（あたりまえ）のこととは何でしょうか。例えば、授業をしっかりと受けることとか、掃除の時間はしっかりと掃除をやることとか、挨拶をきちんとすることとか、提出物を期限内に提出するなど、例をあげていけばいくらでもあります。凡事と言うぐらいですから、とても簡単に思えるかもしれませんが、しかし実際には「凡事徹底」くらい難しいことはありません。なぜなら、何でもないような当たり前前（あたりまえ）のことを徹底的に行うことだからです。つい自分で限界を作ってしまう、「これくらいでいいや」「自分にはできないし」などと、やる前に限界を自分で作って、先にあきらめている人はいませんか。

当たり前前（あたりまえ）のこと全部を徹底してやることは難しいことだと思います。事を成し遂げた多くの方々の話によると、様々な取組に対して決して例外を認めず、計画をしっかりと実行しているようです。なかなか難しいです。しかし、実行していくために一つだけ方法があります。それは「心に刻む」ということだそうです。これらをやり遂げるのに必要なのは「こころ」です。みなさんは、それぞれ「心」があります。心は見えないけれど一人ひとりの中にあります。ぜひ、「こころ」を持って「凡事徹底」を実行するよう心がけてください。



### 平和講話（6/3）

ナガサキ被爆者家族・交流証言講話事業を利用して、2年生を対象とした平和講話を実施しました。国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館から来られた講師の方の心に響く講話に、戦争の恐ろしさと平和の大切さを改めて感じたようでした。講話の様子はケーブルテレビでも放送されました。



### 自然教室（6/10）

霧島ジオパーク推進課の方を講師にお招きし、1年生を対象とした自然講話を行いました。自分たちが暮らしている溝辺周辺のことや霧島連山の地形等について学習しました。霧島連山の模型図にココアと水で作った溶岩を流し、流れていく方向などから安全な避難について確認する実験も行いました。



### 情報モラル教室（6/8）

KDDI から講師をお招きして、開催しました。子どもたち一人一人が、スマホ等の適切な使用をすることの大切さやSNSの怖さを感じたようです。御家庭でも話題にいただき、夏季休業中での使用についても話し合ってください。



陵南中HP（ブログ）も随時更新中です。日頃の子どもの様子をぜひご覧ください。